

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	令和7年11月17日 (月)

■福祉サービス事業者情報

名 称	はあと保育園中央	種 別	保育所
代表者氏名	園長 蒔 英朗	開設年月日	平成31年3月29日
設置者	社会福祉法人 青藍会	定員(利用人数)	120名(120名)
所在地	〒753-0064 山口市神田町4-22		
電話番号	083-941-5580	FAX番号	083-941-5581
ホームページアドレス	https://www.seirankai.or.jp		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

法人本部の一元的事業管理や職員管理により安定的な事業運営が行われています。職員の保育に対する意欲が高く、定期的な研修や職員会議を通して充実した保育の実現に取り組まれています。保育所型認定こども園への移行に向けて準備を進めておられ、保育の質の更なる向上や、多様なニーズに応え得る支援に向けて、積極的に取り組まれています。
また、SNSや保育所向けICTサービスを活用した情報発信により、保護者との強固な連携が図られています。定期的に第三者評価を受審され、常に福祉サービスの質の向上に努力されています。

◇改善を求められる点

事業所(はあと保育園中央)に関する中・長期計画(ビジョンや事業計画・収支計画)の明文化が求められます。法人本部の一元的な事業管理が行われてはいるものの、規程や計画等の事業所職員への周知については課題が残されています。苦情に対する対応策については規程に沿って公表すること、併せて行事に限らず保育全般の満足度に関するアンケート調査なども期待します。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

評価結果については、訪問調査者の公平な評価結果として受け止め、今後の業務運営の方向性を示していただいたと考えています。

当保育園は、開設して7年になります。これまでも地域のニーズに対応した保育の実践、保育の質の向上に努力してまいりましたが、令和8年度からは、保育所型認定こども園へ移行し、これまで以上に教育に重点を置き、地域においてなくてはならないこども園になるよう、本部との連携のもと、運営を行ってまいります。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	7	b	2	c	0	Na	0
<p>朝礼や職員会議の中で園の保育方針などが検討・共有され、職員が同じ目標をもって保育へ取り組まれています。ホームページやパンフレット、園だよりなどで事業所の状況を保護者等へ公表されています。中・長期計画については法人の数値目標やビジョンは確認できましたが、事業所(ハート保育園中央)に関する中・長期計画(ビジョンや事業計画・収支計画)の明文化が求められます。明文化はされていないものの、今後の福祉ニーズに対応するビジョンを描き、保育所型認定こども園の認可に向けて準備を進めておられます。また、定期的に第三者評価を受審され、その結果を踏まえた自己評価を行い、抽出した課題を具体的に検討して取り組みを進めておられます。</p>								

II 組織の運営管理	a	18	b	0	c	0	Na	0
<p>エルダー・メンター制度の導入、職員の誕生日に行う再研修の実施、その他OJTなど、職員個々の成長を支える教育体制が充実しています。また、職員毎の勤務条件や仕事と子育ての両立に手厚く配慮されており、職員の仕事に対するモチベーションが高く、働きやすい職場づくりが行われています。OYA塾やこども広場の開催など、地域と保育所をつなげる行事にも積極的に取り組まれています。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	17	b	1	c	0	Na	0
<p>職員業務基本マニュアルが充実しており、サービスの標準化に向けた体制が整備されています。登園降園のお知らせが保護者のスマートフォンに直接届く仕組みなども取り入れられています。感染症対策や希望者へのインフルエンザ予防接種、小学校や関連施設と連携しての月1回の消防・避難訓練の実施など、不審者対応も含めてリスクマネジメント対策に取り組まれています。また、看護師が配置され医療機関との連携体制が確立されており、感染症の予防や発症時の対応が充実している点は高く評価できます。保育所を変更した子どもに対する事業所間連携も期待されることです。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	20	b	0	c	0	Na	0
<p>法人で実施する誕生日月研修やDVD研修など、保育の質を高めるための研修が毎月行われています。子どもの健康管理については、年2回の小児科検診、年1回の歯科検診やアレルギー生活管理表に基づく支援が行われています。食事は卵を使わない献立で作成されており、誤食を防ぐために目視で確認できる印を設ける工夫や配膳前に献立表を再確認するなど、アレルギー疾患への対応が徹底されています。また、宗教上の事情にも対応するなど、全ての子どもが安心して食事を楽しめるよう工夫されています。</p>								

第三者評価結果表

施設名: はあと保育園中央

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

【 評価項目 】		a	b	c	Na
1 理念・基本方針					
(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。					
1	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	○			
<p>(特に評価が高い点) ホームページやパンフレット、重要事項説明書に記載されているとともに玄関や保育室に掲示されており、利用者、ご家族、職員に対する周知が図られています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					
2 経営状況の把握					
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。					
2	1 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	○			
3	2 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 法人本部により、経営をとりまく環境や課題の分析が的確に実施されています。また、その結果を園長が把握し、毎月の会議で職員と共有して、取組を進めておられます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					
3 事業計画の策定					
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。					
4	1 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		○		
5	2 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		○		
(2) 事業計画が適切に策定されている。					
6	1 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	○			
7	2 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 中・長期的な視点に立ち、保育のさらなる充実を目的として、保育所型の認定こども園の認可に向けて取組を進めておられます。</p> <p>(改善が求められる点) 中・長期計画の明文化が求められます。</p>					
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。					
8	1 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	○			
9	2 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 定期的に第三者評価を受審され、その結果を踏まえた自己評価を行い、抽出した課題を具体的に検討して取組を進めておられます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。

10	1 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	○			
11	2 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	○			

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

12	1 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	○			
13	2 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	○			

(特に評価が高い点)
保育の質の向上を目指し、園長自らリーダーシップを発揮して、保育所型認定こども園の認可に向けて取組を進めておられます。

(改善が求められる点)

2 福祉人材の確保・養成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

14	1 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	○			
15	2 総合的な人事管理が行われている。	○			

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

16	1 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	○			
----	-------------------------------------	---	--	--	--

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17	1 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	○			
----	---------------------------	---	--	--	--

【 評価項目 】		a	b	c	Na
18	2	○			
19	3	○			
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている					
20	1	○			
<p>(特に評価が高い点) 仕事と子育ての両立に手厚く配慮されている点は高く評価できます。研修体制が充実しており、職員教育に力を入れておられます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

3 運営の透明性の確保					
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。					
21	1	○			
22	2	○			
<p>(特に評価が高い点) 子ども・子育て支援情報公表システム、ホームページ、園だよりにより、透明性を確保するための積極的な情報公開がなされています。また、OYA塾やこども広場の開催により、地域に向けた情報の公開にも努めておられます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

4 地域との交流、地域貢献					
(1) 地域との関係が適切に確保されている。					
23	1	○			
24	2	○			
(2) 関係機関との連携が確保されている。					
25	1	○			
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。					
26	1	○			
27	2	○			

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(特に評価が高い点) 地域の子育て家庭を対象とした集いの場(〇YA塾やこども広場)を開催し、地域の福祉ニーズを把握する取り組みがなされています。また、市内の社会福祉法人により構成される地域公益活動推進協議会に参画し、地域の福祉ニーズに基づく活動を進めておられます。					
(改善が求められる点)					

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス					
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。					
28	1	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	○		
29	2	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	○		
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。					
30	1	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	○		
31	2	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	○		
32	3	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。		○	
(3) 利用者満足の向上に努めている。					
33	1	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	○		
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。					
34	1	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	○		
35	2	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	○		
36	3	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	○		
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。					
37	1	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	○		
38	2	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	○		
39	3	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	○		

【 評価項目 】		a	b	c	Na
<p>(特に評価が高い点) 医療機関との連携体制が確立されていることや看護師の配置があることなど、感染症の予防や発症時の対応体制が充実している点は高く評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

2 福祉サービスの質の確保					
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。					
40	1 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	○			
41	2 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○			
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。					
42	1 アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	○			
43	2 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	○			
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。					
44	1 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○			
45	2 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 保育所向けICTソフトの導入により職員間の情報共有が迅速かつスムーズに行える体制が整備されており、そのことが職員間の連携に活かされている点は高く評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

IV 良質な個別サービスの実施(保育所)

【 評価項目 】		a	b	c	Na
A-1 保育内容					
(1) 全体的な計画の編成					
1	1	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じた全体的な計画を作成している。	○		
<p>(特に評価が高い点) 保育計画は、クラス単位で前年度の実績を振り返ったうえで、保育指針や関係法令等を踏まえつつ職員間で協議して作成されています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					
(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開					
2	1	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	○		
3	2	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	○		
4	3	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	○		
5	4	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	○		
6	5	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○		
7	6	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○		
8	7	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○		
9	8	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○		
10	9	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○		
11	10	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	○		
<p>(特に評価が高い点) 特に見守りが必要な子どもについては、クラス担任以外の職員とも情報を共有し、職員全体で連携して対応しています。また、障害のある子どもは集団での活動に自信が持てるよう、楽しんで活動に参加できるまでの段階を丁寧に粘り強く対応されています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					
(3) 健康管理					
12	1	子どもの健康管理を適切に行っている。	○		

【 評価項目 】				a	b	c	Na
13	2	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	○				
14	3	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	○				
<p>(特に評価が高い点) 嘱託医による定期的な健康管理が行われており、保護者とも前日の夜から当日朝までの子どもの様子がわかるよう連絡帳記載がなされて、リスクマネジメントも含めた保育が行われています。食事に卵を使わない献立や誤食を防ぐための工夫など、アレルギー疾患への対応が徹底されています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>							

(4) 食事							
15	1	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	○				
16	2	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	○				
<p>(特に評価が高い点) 子どもが楽しく食事ができるよう配慮されています。食事を残すよりは少なめに配膳してお代わりを促すなどの工夫もみられます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>							

A-2 子育て支援							
(1) 家庭との緊密な連携							
17	1	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	○				
<p>(特に評価が高い点) 個人懇談会や参観日などで保護者と直接関わる機会を設けたり、保育所向けソフトや連絡帳の活用によるアンケートの実施や園での生活状況の報告など、保護者との連携に努力されています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>							

(2) 保護者等の支援							
18	1	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	○				
19	2	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	○				
<p>(特に評価が高い点) 働く保護者の都合に配慮した時間で個人懇談に応じるなど、保護者が安心して相談できる体制が整備されています。</p> <p>(改善が求められる点) 個人懇談の記録については検討の余地があります。</p>							

A-3 保育の質の向上							
(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)							

【 評価項目 】		a	b	c	Na
20	1 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 目標管理シートや子どもの権利チェックリストを活用した自己評価を行うことで、保育士自らが課題を見出して専門性の向上につなげるように取組まれています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					